

氏名	松 浦 秀 光
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1386 号
学位授与の日付	昭和58年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	Primary cultured cells and an established cell line of human hepatocellular carcinomas. (人肝細胞癌の初代培養細胞および継代培養株)
論文審査委員	教授 佐藤二郎 教授 木村郁郎 教授 小川勝士

学位論文内容の要旨

腹腔鏡下生検により得た人肝癌細胞を初代培養し、肝特異機能を有する肝細胞癌培養株 (KG55T) を樹立した。

初代培養は肝癌細胞塊を細胞分離操作を行わず直接培養した。上皮性の初代培養細胞が維持され、線維芽細胞の増殖はみられなかった。初代培養細胞は種々の血漿蛋白を分泌し、培養日数によりその分泌能の不完全な抑制が認められた。

KG55T 細胞は細胞倍化時間50～60時間、plating efficiency 60～65%であった。Albumin, α_1 -antitrypsin, α_2 -macroglobulin を分泌し、tyrosine aminotransferase 活性も検出されたが、血漿蛋白分泌能は初代培養細胞に比べ減少していた。染色体は mode 69 の pseudotriploid pattern を呈し、ヌードマウスでの造腫瘍性は認められなかった。

論文審査の結果の要旨

注意深い配慮の上で、腹腔鏡下生検により得た人肝癌のいわゆる cancer milk をそのまま初代培養し90日にわたって経日的に肝機能を検索すると共に一系の肝細胞癌培養株を樹立した研究である。初代培養において“cancer milk”の培養上の利点と肝特異機能の動態又株細胞において特異機能の研索をすると共に HB virus genom の研究資料を提供した。医学博士論文として価値あるものと認める。